

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、社員の多様性を尊重した能力開発・能力発揮の機会の提供を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、当社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

#### (個別項目)

具体的には、賃金の引上げについては、物価の動向や当社の経営状況等を踏まえながら労使間の真摯な対話に取り組むとともに、教育訓練等については、教育研修の拡充、労働環境の整備、ダイバーシティの更なる推進等に取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言の掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/48562-05-24-saitama.pdf>】

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組

光学の可能性を広げ、社会課題を解決できる製品を通してステークホルダーの皆さまに「感動」と「安心」をもたらすことが、当社の社会的使命です。

持続可能な社会の実現に貢献し、社会に尊敬され、真に必要とされる会社を目指してまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上  
令和 7年 1月 22日

株式会社タムロン 代表取締役 桜庭 省吾